

ニホンカワウソの研究

大西 光莉

調べようと思ったわけ

私は父の仕事でレッドデータブックを目に
して、カワウソが絶滅の危機にあると
知り興味をもって調べようと思
いました。

カワウソとは？

ネコ目カワウソ亜種に属する
哺乳動物の総称。

カワウソ亜種

ニホンカワウソやラッコなどが代表的



- ・泳ぎが得意
- ・水中での生活が適している。

カワウソの種類

なんと 14 種類!!

～代表的～

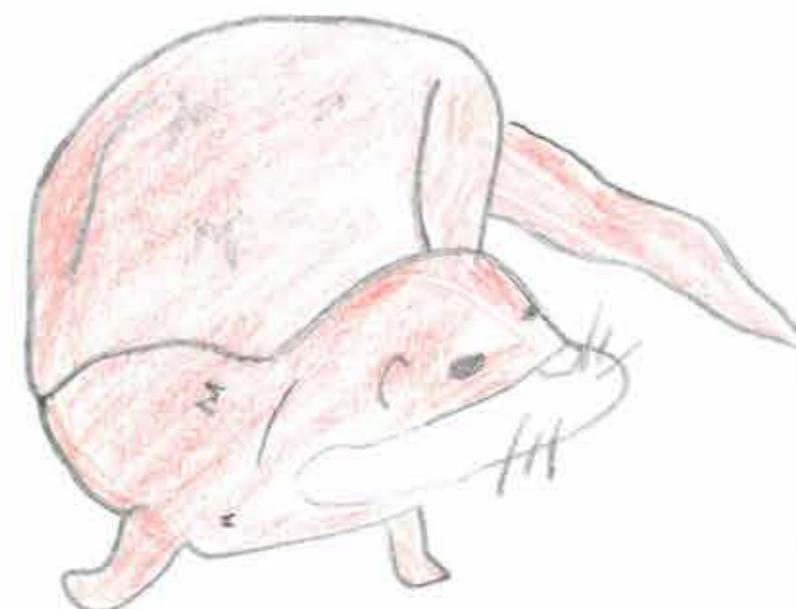
・ニホンカワウソ

・ユーラシアカワウソ

・コツメカワウソ

など。

愛媛県の県獣に
昭和39年5月10日に制定。



性 格.

- ・人なつこい
- ・旺盛な好奇心



釣り人のびくの中をのぞき込んだり、
いたずらをして、人を化かすことから、

カッパのモテレとなつた。

カワウソの減少

今では、カワウソは、愛媛で絶滅危惧種に。

↓ なぜそうなったのか？

☆文明開化後、良質のカワウソの毛皮を使用した洋服が大流行。そのため、乱獲。

☆環境変化、破壊。

河川の整備などによって行き場がなくなった。

特徴的な行動

- ① 夕暮れや早朝に活動をする"薄暮型"である。
- ② あまり泳ぎが得意じゃない。
- ③ 捕った魚類は、頭や内臓など、良い所を一部だけ食べる。
- ④ 海水に入った後は 淡水で水を洗う。その後、砂浜などに転げ回り水分を落とす。モズくろいをする。

⑤ 単独生活で、テリトリーを示す。
仲間とのコミュニケーションの手段として、
タール状の軟便を残す。

⑥ 繁殖期には、発情雌の回りに雄が集まり、
闘戦に勝った者が交尾する。

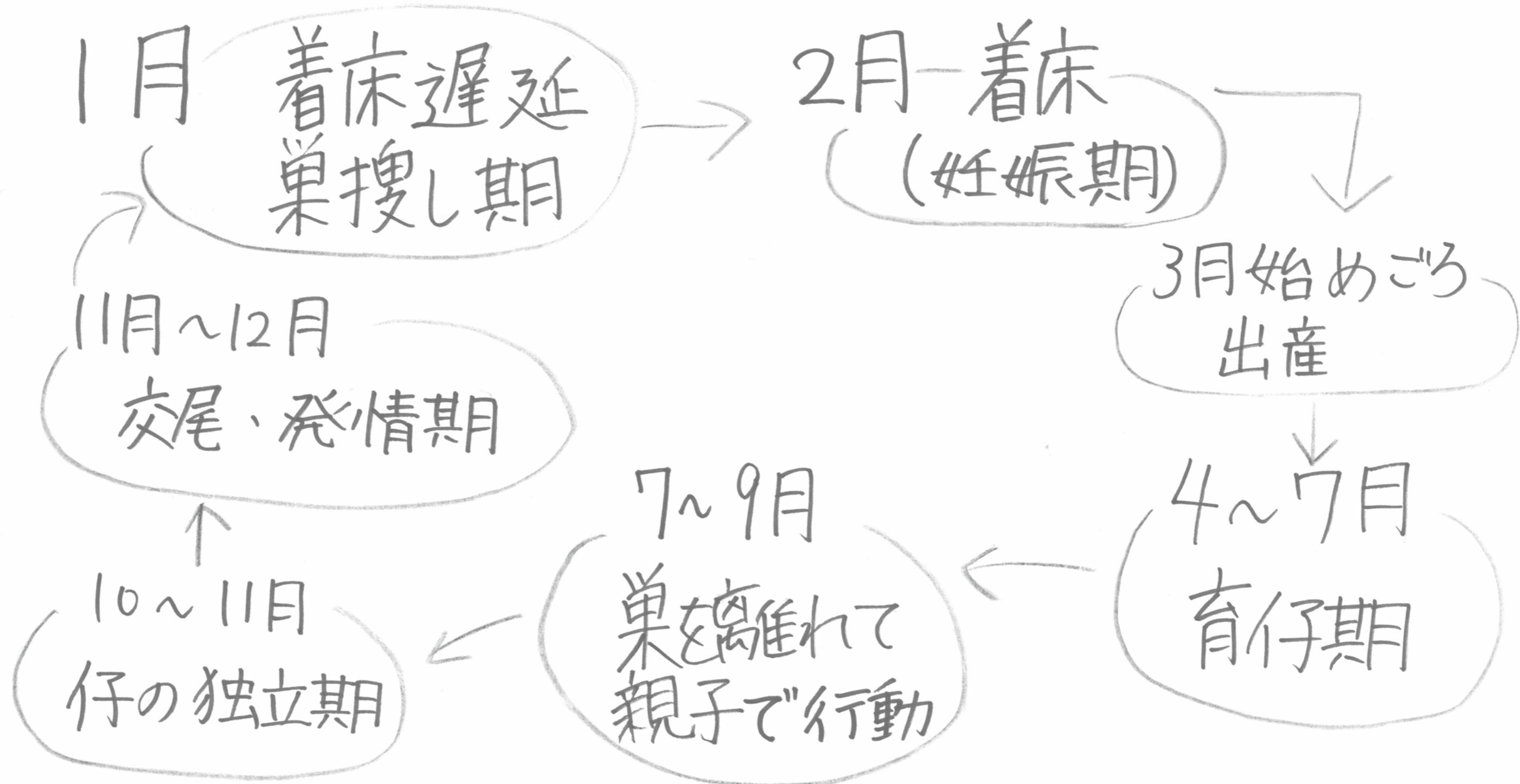
⑦ テリトリーが広く、育仔には常に移動を
している。

カワウソの生活条件

- ① 必ず、淡水の川や池等、海水でぬれた体を洗える場所がある。
- ② 池又は、川のそばに、水を切るために転げ回るぬた場がある。
- ③ 近くに比較的浅くて魚介類を追い込み漁により漁獲できる岩場がある。

④ 繁殖用巣穴は、出入口が複数
ある岩穴や、大木・倒木などの根方を
使うため、①～③の条件に加え、
海岸線につながる草や木で被われた、
ガケ状の岩場が必要。

ライフサイクル



研究した中で発見したもの

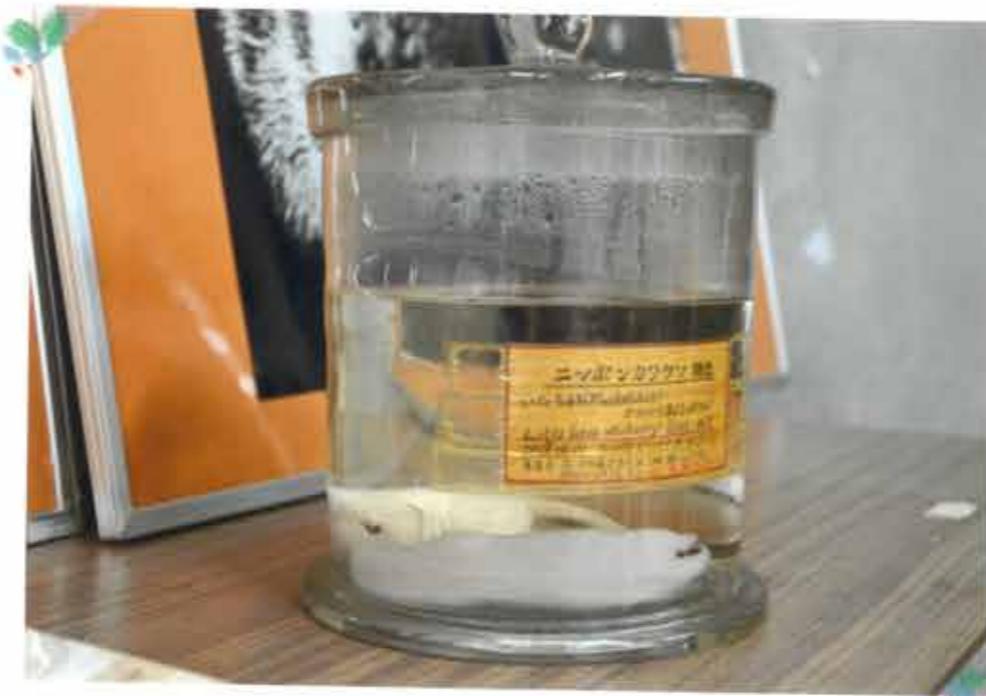


↑ニホンカワウソの骨格



↑ニホンカワウソの剥製





↑ニホンカクウソの胎児

参考資料

★とべ動物園提供資料

★インターネット

写真

★科学総合博物館

★とべ動物園

「絶滅宣言」機に出版

宇和島市和霧小学校教員の宮本春樹さん(58)がこのほど、2012年に国の絶滅種に指定されたニホンカワウソについて、県内や高知県での保護史などをまとめた「ニホンカワウソの記録 最後の生息地 四国西南より」を出版した。

ニホンカワウソは、「県須崎市での目撃を最後(感した)」と3年かかり、体長1㍍前後のイタチ科の哺乳類。かつては全国に生息していたが、明治以降に河川改修や水質汚染、乱獲が原因で激減した。1975年の宇和島市九島での捕獲、79年の高知県の宮本さんによって、これまでの記録をまとめておく必要性を

ニホンカワウソ足跡と保護 宇和島の宮本さん

ニホンカワウソの保護記録などをまとめた本を書いた宮本さん

（第3種郵便物認可）

左側の記事概要（抜粋）：

- 「ニホンカワウソは、『県須崎市での目撃を最後(感した)』と3年かかり、体長1㍍前後のイタチ科の哺乳類。かつては全国に生息していたが、明治以降に河川改修や水質汚染、乱獲が原因で激減した。1975年の宇和島市九島での捕獲、79年の高知県の宮本さんによって、これまでの記録をまとめておく必要性を」
- 「尼ホンカワウソ足跡と保護 宇和島の宮本さん」
- 「尼ホンカワウソは、『県須崎市での目撃を最後(感した)』と3年かかり、体長1㍍前後のイタチ科の哺乳類。かつては全国に生息していたが、明治以降に河川改修や水質汚染、乱獲が原因で激減した。1975年の宇和島市九島での捕獲、79年の高知県の宮本さんによって、これまでの記録をまとめておく必要性を」

調べて、これから

私は、ニホンカワウソについて調べて、
自然だけのせいでカワウソが減りましたの
ではなく、実は自分たちに原因があったと知り
驚きました。

これからは、絶滅をくい止めるために何が
できるかを考えていきたいです。